



〈愛西市議会9月定例会一般質問〉
まの和久議員

市民の使用を制限する 公共施設の廃止は見直しを



愛西市議会は9月4日と5日に一般質問を行いました。
日本共産党愛西市議団、まの和久議員の一般質問の内容を紹介します。

廃止予定の公共施設 廃止計画の具体化を市が表明

愛西市は、令和2年に策定した「愛西市公共施設等個別施設計画」で「廃止」の方向性を示した施設について、その具体化を進めることを表明しました。

■廃止予定の主な公共施設

□庁舎関係

八開庁舎

□コミュニティセンター関係

市江地区コミュニティセンター

西保地区防災コミュニティセンター

立田北部地区防災コミュニティセンター

立田南部地区防災コミュニティセンター

藤浪地域防災コミュニティセンター

勝幡地域防災コミュニティセンター

町方地域防災コミュニティセンター

草平地域防災コミュニティセンター

川渚地域防災コミュニティセンター

□福祉施設関係

八開総合福祉センター

佐屋老人憩いの家

藤波老人憩いの家

□体育施設関係

佐織体育館

立田体育館

八開総合運動場



まの和久議員は、その具体的な内容について、市民サービスの後退をさせない視点で質問しました。

まの和久議員

ロードマップ（廃止計画）の具体的な内容は、廃止の実施時期は、

総務部長

庁内組織である愛西市公共施設等マネジメント推進会議及びその作業部会で、施設ごとの具体的なスケジュールを検討する。時期は施設ごとに異なる。

まの和久議員

市民の利便性の悪化、利用できなくなる点について、どう考えるか。その対策は。

総務部長

地元管理や他施設への利用の移行を進める。利用者数の推移や今後の人口減少が見込まれる状況の中で、財政的にも過大にならないよう見直しをしなければならぬ。

廃止にあたっては、利用者へ他施設の利用をお願いするなど説明に努め、理解してもらう必要がある。

まの和久議員

コミュニティセンターは、地域住民の活動の拠点であり、地域活動の活性化を進める市の方針と矛盾するのでは。

市民協働部長

コミュニティセンターについては、利用状況を確認しながら統合、地域への移譲などの方向性を考えていく。

公共施設は廃止、道の駅には年1億円

廃止の対象は、各コミュニティセンター、立田・佐織体育館、老人憩いの家など市民活動に関わる施設です。これらの施設を廃止する一方で、道の駅の維持管理費は年間1億円です。これは納得できません。見直しを求めます。

AEDの24時間利用へ コンビニに設置検討を

AED（自動体外式除細動器）は、心臓の異常で、心室細動（心臓の心室が痙攣し、血液を体へ送れない状態）になったときに、電気ショックを行い正常な状態に戻す機器です。心室細動が起こったとき、できるだけ早く行えば、社会復帰も可能性も高くなります。救急車が来るまでに、周りの市民だれもが利用できるものです。

しかし、AEDが置いてあるのは、主に公共施設で、夜間の利用ができません。24時間必要ときに利用できるような対策を始める自治体が増えてきました。

まの和久議員

市内公共施設のAEDの設置状況は、

消防長

市内69カ所の公共施設をはじめ、10カ所の保育園、幼稚園に設置されている。

まの和久議員

弥富市は市内18カ所のコンビニエンスストアに置いてもらい、24時間利用できる。屋外設置やコンビニ設置を愛西市も検討してほしい。

消防長

屋外設置やコンビニ設置は、いつでもAEDが利用できるメリットはある。24時間利用できる環境を提供するため導入する自治体もあるが、使用実績は僅かであり、防犯対策や費用もかかる。現時点では、県からの包括的な支援もないため、考えていない。